

日本珪藻学会第 35 回大会(名古屋大学)案内

1. 開催月日

2014 年 4 月 26 日(土)~27 日(日)

2. 開催場所

〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学環境学研究科理学部 E 館 E101 室

3. 連絡先

須藤 斎
〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学環境学研究科理学部 E 館 E430 室
電話: 090-3431-9254, 052-789-2535
メール: suto.itsuki@a.mbox.nagoya-u.ac.jp

4. 受付

- ・ 受付は、理学部 E 館 101 室前もしくは中に 4 月 26 日(土)は 12 時 00 分~13 時 00 分に、27 日(日)は、8 時 00 分~9 時 00 分に開設しますので、到着しましたら受付をお願いします(キャンパスマップ・E 館見取り図をご覧ください)。
- ・ 荷物と貴重品は各自で管理をお願いします。
- ・ 受付でネームプレートを配布しますので、期間中は必ずご使用ください。
- ・ また、27 日(日)は、理学 E 館入口が自動閉鎖されてしまいますので、建物向かって右側の入口の右側にある電子キーパネルを「3157E」と入力し、入構してください。
- ・ 建物内は禁煙ですので、喫煙希望の方は喫煙スペースにてお吸いください。

5. その他 相談等は下記にご連絡ください。

須藤 斎(すとう いつき): 090-3431-9254(携帯), 052-789-2535(居室 E430)または,
suto.itsuki@a.mbox.nagoya-u.ac.jp

日本珪藻学会第 35 回大会(名古屋大学)プログラム

期 日:2014 年 4 月 26 日(土)・27 日(日)

会 場:名古屋大学環境学研究科 理学 E 館 E101 室(愛知県名古屋市)

学会会長:真山茂樹

大会会長:須藤 斎

第一日 4 月 26 日(土)

10:30 編集委員会(理学部 E 館 E127 室)

11:30 運営委員会(理学部 E 館 E127 室)

12:00 受 付(理学部 E 館 E101 室前)

13:00 開 会 学会会長挨拶, 大会会長挨拶

《シンポジウム:珪藻と古環境》

(○が付いた発表者は学生)

【座長】須藤 斎(名大・環境)

13:10 (S1)須藤 斎(名大・環境)

シンポジウムの趣旨説明～「珪藻と古環境」の理解をより進めるために

13:20 (S2)齋藤めぐみ(国立科博)

生物地理の観点からみた湖沼珪藻の歴史

13:40 (S3)鹿島 薫(九大)

湖沼年縞ラミナ中の珪藻遺骸群集の変動－凍結法による湖底軟泥不攪乱試料の分析からの考察－

14:00 (S4)千葉 崇(筑波大・生命環境系)

沿岸域の珪藻が地層の中で消失するまでの話

【座長】齋藤めぐみ(国立科博)

14:20 (S5)廣瀬孝太郎(福島大・共生システム理工学研究科)

完新世における西日本沿岸域の珪藻化石群集～自然環境変化と人為的改変～

14:40 (S6)秋葉文雄(珪藻ミニラボ)・平松 力(石油資源・技研)

海生浮遊性珪藻 *Thalassionema* 属分類の再検討と生層序・古環境解析への利用

15:00 (S7)○加藤悠爾(名大・環境)・小野寺丈尚太郎(JAMSTEC)・須藤 斎(名大・環境)・寺石瑛人(NTTコムウェア)・高橋孝三(九大・理学研究院, 北星学園大・社会福祉学部)

北西太平洋およびベーリング海から採取された海底堆積物コアの年代決定と鮮新世-更新世古海洋環境復元

15:20 (S8)沢田 健(北大・理)

珪藻バイオマーカーを用いた古環境変動の復元

15:40 写真撮影(理学部 E 館前)

<休憩>

16:00~

《ポスター発表》

(2~3分程度の説明をお願いします。○が付いた発表者は学生)

【座長】千葉 崇(筑波大・生命環境系)

(P1)○姜 怡辰(九大・理学府)・鹿島 薫(九大・理学研究院)・瀬戸浩二(島根大・汽水域研究センター)・谷 幸則(静岡県立大・環境科学研)・井上 源喜(大妻女子大・社会情報学部)

珪藻遺骸群集を用いた南極宗谷海岸の沿岸湖沼における環境復元

(P2) Richard Jordan・Yukari Kamiyama・Riko Wako・Akiko Nishizawa・Kenta Abe (Yamagata University)

Morphological variation in *Actinoptychus*

(P3)○三宅由香(奈良女大・院)・前田俊雄(奈良県立橿原考古学研)・伯耆晶子(淡水藻類研)・高田将志(奈良女大・人文科学)

平城京左京五条五坊二坪遺跡から得られた珪藻化石群集

(P4)○Noha Mohamed Mashaal (Kyushu University)・Kaoru Kashima (Kyushu University)

Diatom assemblages at Wadi El Natrun, Western Desert, Egypt

(P5)○山本真里子(名大)・大塚泰介(琵琶湖博)・上野振一郎(名大)・杉谷健一郎(名大)

干潟堆積物中の形態別リン分布に対する珪藻の寄与

(P6)中嶋 信・橋本茉莉(東大・法医)・山田真嗣(東京医科歯科・法医)

荒川感潮域における珪藻の季節変動

(P7)○西田千尋・堺真砂美・天田 啓(福岡工業大)

マングローブ林床から分離された2種類の珪藻

(P8) Liisa Puusepp (Ehime Univ.)・Liisa Umbleja・Shinya Sugita (Institute of Ecology, Tallinn Univ.)

Diatom assemblages and local ecosystem changes in the Holocene around forest hollows in the Haanja Heights, SE Estonia

(P9) Zuzia Stroynowski (IPMA)・Richard Jordan・Kenta Abe (Yamagata University)

Description of several species from the genus *Thalassiosira* Cleve in the North Pacific from water column, sediment trap and core samples

<休憩>

17:00 総会(理学部 E 館 E101 室)

18:30 懇親会(名古屋大学内「花の木」)

第二日 4月27日(日)

≪講演(一般口頭発表)≫

(○が付いた発表者は学生)

〈海洋・化石の部〉

【座長】廣瀬孝太郎(福島大・共生システム理工学研究科)

8:30 (O1) 田中宏之(前橋珪藻研)・南雲 保(日歯大・生物)

瑞浪層群平牧層(前期中新世・岐阜県)から見出された *Actinocyclus* 属珪藻

8:45 (O2) ○阿部健太(山形大)・須藤 斎(名大・環境)・Catherine E. Stickley(Tromsø 大)・Richard W. Jordan(山形大)

Corethron 属の化石記録

9:00 (O3) 今野 進(九大院・理)・Leonid Polyak(オハイオ州立大・バード極地調査センター)・Richard Jordan(山形大・理)

北極チュクチ海における珪藻化石を用いた珪藻古環境復元

9:15 (O4) 石井健一郎(京大)・大塚泰介(琵琶湖博)・宮下英明(京大)・神川龍馬(京大)・今井一郎(北大院・水産)・石川 輝(三重大院・生物資源)

伊勢湾海底堆積物中の珪藻類休眠期細胞

〈海洋および沿岸・現生の部〉

【座長】今野 進(九大院・理)

9:30 (O5) 金子詩歩(海洋大・藻類)・鈴木秀和(海洋大・藻類)・宮崎奈穂(海洋大・生物海洋)・南雲 保(日歯大・生物)・田中次郎(海洋大・藻類)

東京湾芝浦運河岸壁の付着珪藻相・第2報

9:45 (O6) ○滝本彩佳(海洋大・藻類)・鈴木秀和(海洋大・藻類)・坂西芳彦(水研セ・日水研)・阿部信一郎(水研セ・日水研)・南雲 保(日歯大・生物)・田中次郎(海洋大・藻類)

新潟県佐渡島産海草アマモ類葉上の付着珪藻相・第3報

10:00 (O7) ○原 陽太(海洋大・藻類)・鈴木秀和(海洋大・藻類)・松岡孝典(日歯大・生物)・南雲 保(日歯大・生物)・田中次郎(海洋大・藻類)

南西諸島沿岸の砂地に生育する珪藻類の形態学的研究

<休憩>

〈淡水・現生の部〉

【座長】真山茂樹(東京学芸大)

10:30 (O8) 森 勇一(金城学院大)・宇佐美徹(愛知県立杏和高校)・渡辺亜由美(金城学院大)・小野知洋(金城学院大)

愛知県の鉱質土壌湿原から出現した珪藻について

10:45 (O9) 真山茂樹(東京学芸大学)・松本光史(電源開発)・根本理子・福田頼謙・武藤正記・吉野知子・松永 是・田中 剛(東京農工大学院)

隠蔽種か別種か一極微細珪藻 *Fistulifera* の進化

11:00 (O10) 辻 彰洋(国立科博)

Cyclotella shanxiensis の員弁川における分布と生態

〈ウイルス・バイオマーカー・遺伝子の部〉

【座長】辻 彰洋(国立科博)

11:15 (O11) 豊田健介(慶応大・生物)・山田勝雅(水研セ西海)・長田敬五(日歯大・新潟生物)

これまでに得られた珪藻類感染性ウイルスについて

11:30 (O12) 大井皓正・松田祐介(関西学院大・理工)

分子マーカーによる海洋性珪藻有性生殖確認

11:45 (O13) 佐藤晋也(福井県立大)・Martyn Kelly(Bowburn Consultancy, UK)・Peter Kille(Cardiff University, UK)・David Mann(IRTA, Spain/RBGE, UK)

英国環境庁珪藻 DNA バーコーディングプロジェクト

<休憩>

12:10 学会会長挨拶, 大会会長挨拶

12:30 閉会

〈ワークショップ:珪藻化石を見てみよう!〉

13:40-16:40?

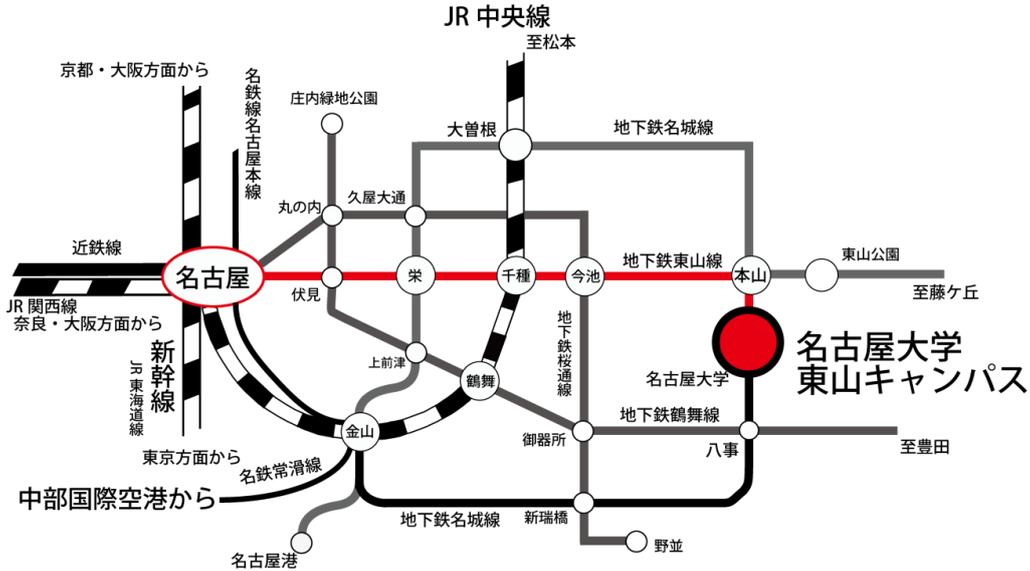
堆積物処理法の概要

世界の様々な時代の珪藻化石スライドの観察

その他:質問コーナー

ご所有の堆積物や淡水・海生珪藻化石のスライド等のお持込み大歓迎!

交通案内



鉄道を利用

- ・ JR 名古屋駅・名鉄新名古屋駅・近鉄名古屋駅からの場合…
地下鉄東山線藤が丘行きに乗車し、本山駅で地下鉄名城線右回りに乗り換え、「名古屋大学」駅下車。所要時間約 30 分 (乗換含)。
- ・ JR 金山駅・名鉄金山駅からの場合…
地下鉄名城線左回りに乗車し、「名古屋大学」駅下車。所要時間約 25 分。

航空機 (中部国際空港) を利用

- ・ 空港から名鉄特急に乗車し、名古屋駅または金山駅で下車、その後地下鉄に乗り換え (上記参照)。
- ・ 又は、空港バスにて栄または名古屋駅に出て、地下鉄に乗り換え。

キャンパスマップ



理学部E館見取り図



<p>4月26日</p> <p>10:30 編集委員会</p> <p>11:30 運営委員会</p>	<p>4月27日</p> <p>13:40 ワークショップ 集合場所</p>	<p>4月26・27日</p> <p>珪藻学会会場 口頭・ポスター発表</p>	<p>4月26・27日</p> <p>こちらからご入館ください。閉鎖時は電子キー パネルを「3157E」</p>
---	---	--	---



名古屋市観光は、バス・地下鉄全線一日乗り放題の「一日乗車券(平日限定・850円)」と「ドニチエコきっぷ(土日限定・600円)」が便利です。また、得ナビ対象スポット(多くの観光スポット)で、当日ご利用のドニチエコきっぷ・一日乗車券を提示していただくと割引・特典が受けられます。駅の券売機、コンビニなどで購入可能です。ぜひご利用ください。